

〔海況概要〕（令和5年 1月26日～2月1日）

今週の本県近海の表面水温は、8～18℃台を示し、平年並みの水温でした。

〔漁況概要〕（令和5年 1月26日～2月1日）

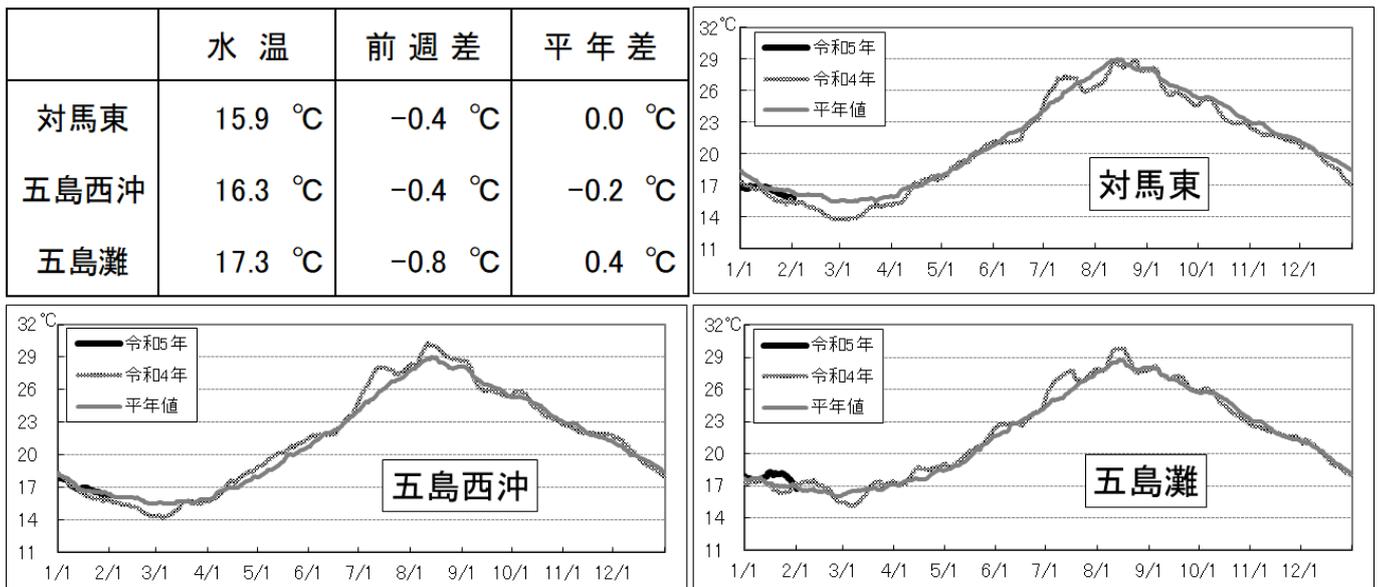
- 中小型まき網——西彼地区では、マアジなどが1日1統当たり11トンの水揚げで、前週の1.4倍（前年を上回った）。五島奈留地区では、マアジなどが1日1統当たり5トンの水揚げで、前週の2.5倍（前年を上回った）。北松南部地区では、マアジなどが1日1統当たり9トン水揚げで、前週の30%（前年を下回った）。
- イカ釣——スルメイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり144kgの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり1.4トン水揚げで、前週の3.5倍（前年を上回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり4kgの水揚げで、前週の67%（前年並み）。壱岐勝本地区では、1日当たり18kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、1日1統当たり2kgの水揚げ。
- 定置網——五島有川地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり150kgの水揚げ。五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり475kgの水揚げ。対馬西岸地区では、マアジなどが1日1統当たり234kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ケンサキイカなどが1日1統当たり87kgの水揚げ。
- 一本釣——北松宇久地区では、ヒラマサが1日当たり94kgの水揚げで、前週の5倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/25～1/30の6日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北西沖等で操業、八戸沖は荒天の為入港。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖～青森県沿岸で操業。鳥取県西部（沖合船）入港船なし。（漁業情報サービスセンターより）

〔海面水温情報〕 MGDSST（人工衛星水温） [気象庁発表] より

令和5年1月26日～令和5年2月1日の平均水温



〔お知らせ〕

漁海況通信「第5-2号 五島灘・五島西沖・壱岐水道・対馬東水道の観測結果」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>